【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和7年6月17日(2025.6.17)

【公開番号】特開2024-324(P2024-324A)
【公開日】令和6年1月5日(2024.1.5)
【年通号数】公開公報(特許)2024-002
【出願番号】特願2022-99048(P2022-99048)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　7/00(2017.01)
Ｇ０１Ｎ 21/88(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　7/00　３００Ｆ
Ｇ０１Ｎ 21/88　　Ｊ

【手続補正書】
【提出日】令和7年6月9日(2025.6.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定のグループに属する１つまたは複数の画像を入力する入力手段と、
前記入力手段により入力された画像ごとに変状を検出する処理を実行する検出処理手段と、
前記検出処理手段により検出された変状情報に対して、前記所定のグループの中で固有の識別情報を設定する設定手段と、
前記設定手段により前記識別情報が付与された変状情報を含む検出結果を出力する出力手段と、を有することを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
前記変状情報を前記画像に配置するための画像情報を、前記検出結果に追加する情報付与手段をさらに有することを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記画像情報は、前記画像の外形情報であることを特徴とする請求項２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記情報付与手段は、前記画像の外形情報に固有の識別情報を付与することを特徴とする請求項３に記載の情報処理装置。
【請求項５】
前記変状情報の前記画像における位置を表す第１の座標情報を第２の座標情報に変換する座標変換手段をさらに有することを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項６】
前記座標変換手段は、前記画像ごとの変状情報の座標情報を所定のパターンでオフセットすることを特徴とする請求項５に記載の情報処理装置。
【請求項７】
前記所定のパターンをユーザが選択可能であることを特徴とする請求項６に記載の情報処理装置。
【請求項８】

前記画像は、検査対象の構造物を撮影した画像であり、
前記第２の座標情報は、検査対象の構造物の図面情報における前記画像の位置を表す座標情報であることを特徴とする請求項５に記載の情報処理装置。
【請求項９】
前記設定手段は、すでに識別情報が付与されている変状情報を再検出した場合に新たな識別情報を付与することを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項１０】
前記設定手段は、すでに識別情報が付与されている変状情報と同等と見なせる変状情報に同一の識別情報を付与することを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項１１】
前記出力手段は、前記画像ごとの第１の検出結果と、前記画像ごとの検出結果を前記所定のグループで統合した第２の検出結果と、を出力することを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項１２】
前記第１の検出結果の変状情報は、前記変状情報の前記画像における位置を表す座標情報で表現され、
前記第２の検出結果の変状情報は、検査対象の構造物の図面情報における前記画像の位置を表す座標情報で表現されることを特徴とする請求項１１に記載の情報処理装置。
【請求項１３】
前記情報処理装置は、前記第１の検出結果を編集可能に前記画像に重畳表示する第１のビューワと、前記第２の検出結果を編集可能に検査対象の構造物の図面情報に重畳表示する第２のビューワとを含むことを特徴とする請求項１２に記載の情報処理装置。
【請求項１４】
前記第１のビューワにおける編集内容が前記第２の検出結果に反映され、前記第２のビューワにおける編集内容が前記第１の検出結果に反映されることを特徴とする請求項１３に記載の情報処理装置。
【請求項１５】
前記画像は、検査対象の構造物の一部を撮影した部分画像であり、
前記第１の検出結果は、前記部分画像ごとに検出された変状情報を含み、
前記第２の検出結果は、前記部分画像ごとに検出された変状情報を、前記検査対象の構造物全体で統合した変状情報を含むことを特徴とする請求項１１に記載の情報処理装置。
【請求項１６】
入力手段が、所定のグループに属する１つまたは複数の画像を入力するステップと、
検出処理手段が、前記入力された画像ごとに変状を検出する処理を実行するステップと、
設定手段が、前記検出された変状情報に対して、前記所定のグループの中で固有の識別情報を設定するステップと、
出力手段が、前記識別情報が付与された変状情報を含む検出結果を出力するステップと、を有することを特徴とする情報処理方法。
【請求項１７】
コンピュータを、請求項１から１５のいずれか１項に記載された情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】
記憶デバイス３０４は、情報処理装置３００に内蔵されたハードディスクやメモリカードなどの内部機器または情報処理装置３００に着脱可能に接続されたハードディスクやメ

モリカードなどの外部機器やネットワークを介して接続されたサーバ装置である。記憶デバイス３０４は、半導体メモリや磁気ディスクなどから構成されるメモリカードやハードディスクなどを含む。また、記憶デバイス３０４は、ＤＶＤ、Ｂｌｕ－ｒａｙ（登録商標）Ｄｉｓｃなどの光ディスクに対してデータの読み出し／書き込みを行うディスクドライブから構成される記憶媒体を含む。